



主催：日本コンクリート技術株式会社
株式会社セメント新聞社

緊急開催「コンクリート技術大会（会津）」

～東日本大震災の
復旧・復興に貢献するコンクリート技術～

2011年10月6日（木）～10月7日（金）
福島県会津若松市 文化センター
会津稽古堂

作成：スタッフ一同

大会スケジュール

10月6日（木） 文化センター	
14：00～17：00	特別講演会 東京工業大学名誉教授 長瀧 重義 長岡技術科学大学教授 丸山 久一
18：00～20：00	懇親会
10月7日（金） 会津稽古堂	
9：30～16：00	技術講演会 災害復旧・復興技術Ⅰ ◎1階多目的ホール 災害復旧・復興技術Ⅱ ◎3階研修室 ※講演内容は大会プログラム参照 パネル展示会を併催

受付の様子



3

開会宣言

篠田佳男社長(日本コンクリート技術株式会社)



4

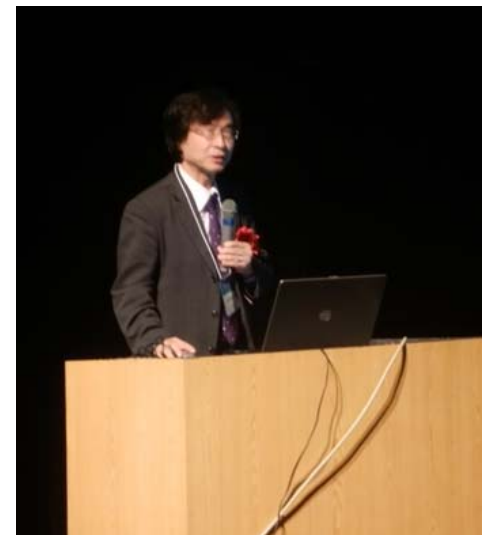
特別講演

「復旧・復興へ向けた新しいコンクリート技術の取り組み」
長瀧重義先生(東京工業大学名誉教授)



特別講演

「大震災の被災状況と今後の課題」
丸山久一先生(長岡技術科学大学教授)



特別講演会

会場の様子①



特別講演会

会場の様子②



懇親会

～会場の様子～



懇親会

～祝舞 東山温泉芸者～



懇親会／乾杯

岩城一郎先生(日本大学工学部教授)



11

懇親会

～歓談の様子～



12

技術講演会 震災復旧・復興技術 I

「福島県におけるインフラの長寿命化のための方策について」
岩城一郎先生(日本大学工学部教授)



13

技術講演会 震災復旧・復興技術 I

「コンクリート関連の学協会の取組みについて」
久田 真先生(東北大学大学院工学研究科教授)



14

技術講演会 震災復旧・復興技術 I

「東日本大震災の復旧・復興～国総研の議論から」
西川和廣所長(国土交通省国土技術政策総合研究所)



15

技術講演会 震災復旧・復興技術 I

「東北地方太平洋沖地震での港湾・海岸施設の被害と復旧方針」
清宮 理先生(早稲田大学創造理工学部教授)



16

震災復旧・復興技術Ⅱ

震災復旧・復興(構造)／座長:丸屋 剛 氏(大成建設)



震災復旧・復興技術Ⅱ

震災復旧・復興(材料)／座長:栗田 守朗 氏(清水建設)



震災復旧・復興技術Ⅱ

耐震復旧・復興(若手技術者)／座長:宮里 心一 氏(金沢工業大学)
網野 貴彦 氏(東亜建設工業)



パネル展示会

パネル展示会 会場配置図
(会津稻古堂 3階 第2・3研修室)



- 出展会社: ①(株)リバティ・②(株)重松製作所・③レコーサル工業会
④(株)篠崎・⑤日建工学(株)・⑥花王(株)・⑦(株)フローリック
⑧国立大学法人熊本大学・⑨タケモトデンキ(株)・⑩(株)マルイ
⑪エルスエンジニアリング(株)・⑫(社)北陸建設弘済会
⑬(株)セメント新聞社・⑭日本コンクリート技術(株)

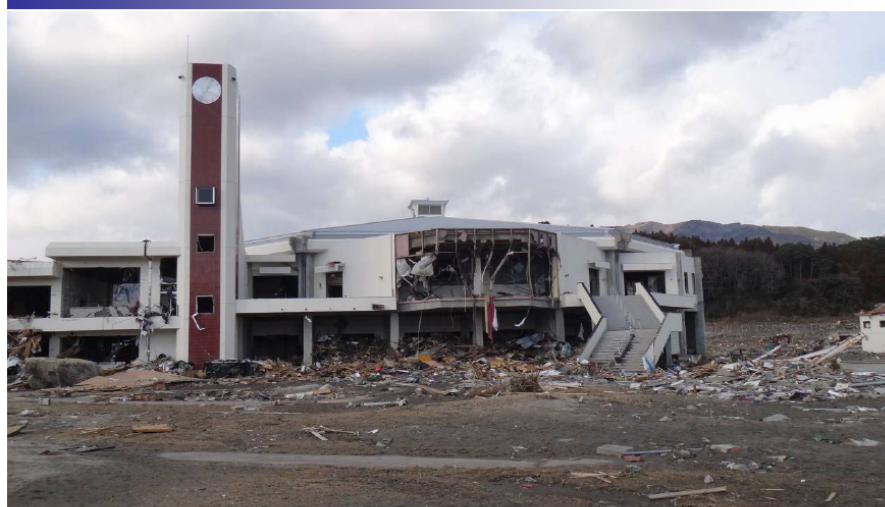
パネル展示会の様子



21

東北地方太平洋沖地震発生

陸前高田 市民体育館(避難所)浸水高15.8m



第3チーム岡安氏(東京海洋大)提供

体育館の地盤高は約1.8m、浸水深は14.0m
内部は基本的にフロアと観客席しかないので、観客席の最上部分でも地盤から10m程度の高さしかなかった。

- 発生日時: 3月11日14時46分
- 震源地: 三陸沖 深さ24km Mw=9.0
- 最大震度7: 宮城県栗原市

22

津波の被害

復旧・復興に向けて
がんばろう！！



コンクリート技術の有効利用を